

地域医療・介護サービス資源情報管理システム「あいマッチ」について

- 「あいマッチ」は、「在宅医療・介護連携支援事業」の地域の医療・介護サービス資源の把握・管理ができるクラウドサービスで、各施設が登録した情報の検索が可能。
- また、退院支援時に患者さんの希望する医療・介護サービスを条件に受入れが可能な施設を検索し、候補となった施設に対して、システムから受入れ要請を行うことも可能。

【基本情報】

システム提供会社：SBS情報システム

サービス名：あいマッチ

サービス提供方式：クラウド型サービス（インターネット接続環境＋証明書インストール）

利用料金：施設ごとの利用料金制

【特徴】

- ・全国の施設の初期基本情報が登録済みであり、医療情報ネット、介護サービス情報公表システムからのデータ取組が可能。
- ・医療・介護施設の情報が一つのシステム上で検索でき、マップ上に一覧が表示される。
- ・システムに参加する利用者は、自施設の詳細情報を登録可能で、空床情報なども登録が可能。
- ・静岡県医師会が運用する「シズケア＊かけはし」のうちの1つの機能を取り出し、クラウドサービス「あいマッチ」として提供されているもので、静岡県ではすでに2年のシステム稼働実績がある。

【静岡県の状況等】

- ・静岡県では県医師会が「シズケア＊かけはし」というネットワークシステムを運用しており、その機能は①患者情報の多職種間連携、②施設検索機能③情報交流ツールという構成になっている。
- ・参加施設は病院、診療所、介護事業所など合計 839 施設。
- ・平成 23 年度から在宅医療連携ネットワークとして在宅医療の患者情報を多職種間で共有する仕組みを構築したが、運用を行う中で施設検索機能のニーズが出てきたことから 28 年度にリニューアルする際に、施設検索と、患者のマッチング機能を搭載して「シズケア＊かけはし」となった。
- ・県全体でシステム利用を推進しているが、自治体が中心になる地域、病院が中心となる地域、郡市医師会が中心となる地域など、地域により活用状況、方法は異なる。
- ・施設検索機能は、新しい機能であるため今年度にモデル事業として活用を推進しているが、病院が参加して退院カンファレンスに活用する事業なども実施されている。